

⑰ かまくら幼稚園 1974(S49)～

設立は、西武不動産が浄明寺に開発した土地に、学校法人西武学園の一幼稚園として開園した。戦後浄明寺地区婦人会の子供会活動が発展してできたみちる幼稚園が1975年に廃園になったのは、ハイランドに設備のよいかまくら幼稚園が設立されたからのようだ。

今年50周年を迎えた。

教育の特徴は、幼稚園では「遊びは学び」を合言葉に、子ども同士が互いの良さを認め合い、集団生活を楽しむことができる園児の育成とした。

環境は、浄明寺の一角の広い敷地(浄明寺16-19-1)にあり、砂場に続き遊具が幾種類もある。その周りに大小の樹々が植えられ、運動場としての面積も広広としている。運動会もコロナ渦中、年長・中組、年少組にふり分け行われた。

自然は、小高い丘の上にある園舎からは富士山が見え、夕日が綺麗に見える。もう少し高い丘に登れば相模湾も見える。四季折々の変化に富んだところである。

園舎は、園庭の三方を囲むように作ってあり平屋、2

階建て、2階より園庭に下る階段がある。反対側の2階のガラス窓の部屋はどんな使い方をするのか。

久木から、園舎は逗子市との市境で鎌倉と逗子の子供が入園した。卒園生の声を聞いたかったが、「アメリカ帰り」とか「リタイヤしてこの地に来た」という人ばかりに会い、卒園生に出会えなかったのは残念。

通園バスは、初代園長石黒虎吉以降、入園児が増え通園バスを3方向に運行したが1999年神奈川中央交通運輸に委託した。

地域との交流は、92年から親子親睦会を開催し2018まで続いていた。この頃、三歳児保育を新設し、未就園児親子教育を開始した。鎌倉第二中学生と年長組の交流会もあった。また親子合同避難訓練も行っている。

